

気仙沼観光マーケティングレポート(令和元年 12月版)

◆今月のピックアップ

- ・宿泊者数の同月前年比は、「合計」で 96.6%と微減ではあるが、「観光・その他」では 131.5%と増加している。一方で「復興関連」が 46.8%と落ち込んでおり、全体的に観光・ビジネスでの宿泊にシフトしていることが伺える。また、10 月以降気仙沼は客室稼働率において全国平均を下回っており、12 月も同様の結果となった。
- ・12 月の物販施設のレジ通過者数においては年々増加傾向にあるが、12 月から 2 月は年間を通じ人数が少ない時期となる。
- ・観光施設の利用者数は全体で同月前年比 154.2%と増加している。
- ・観光案内所利用人数は同月前年比 136.4%と増加。駅前観光案内所は 84.3%，海の市観光サービスセンターが 173.0%と、特に海の市観光サービスセンターが大幅増となった。

1. 宿泊

<宿泊施設ピックアップ>

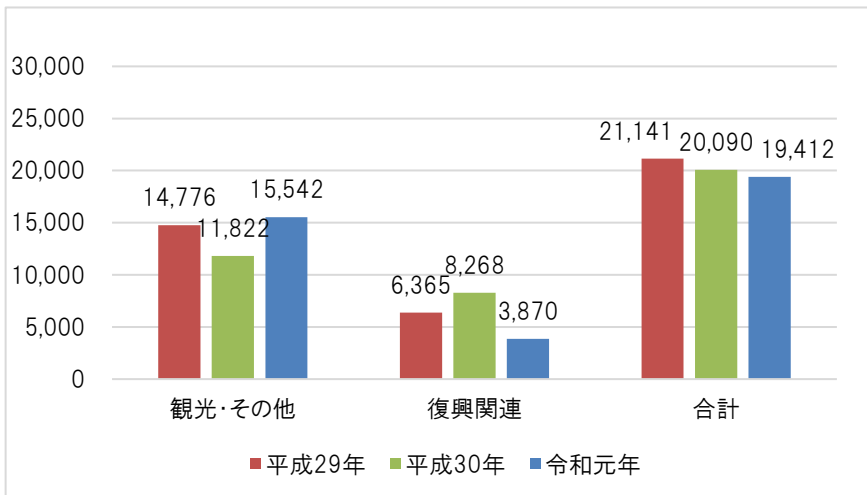
- ・宿泊者数の同月前年比は「合計」で 96.6%と微減している。「観光・その他」が 131.5%，その内、「観光」が 141.8%，「その他」が 116.6%とそれぞれ増加しており、観光客の宿泊需要は増加傾向にある。一方、「復興関連」は 46.8%と大幅に減少している。
- ・宿泊施設からは「マレーシアからのインバウンドツアーの受入れがスタートし、春先までこの受入れをしっかりとやりたい。この冬の閑散期を埋めるためにインバウンドを大切にしたい。」などのコメントが寄せられた。

(1) 宿泊者数

① 同月前年比

(単位:人)

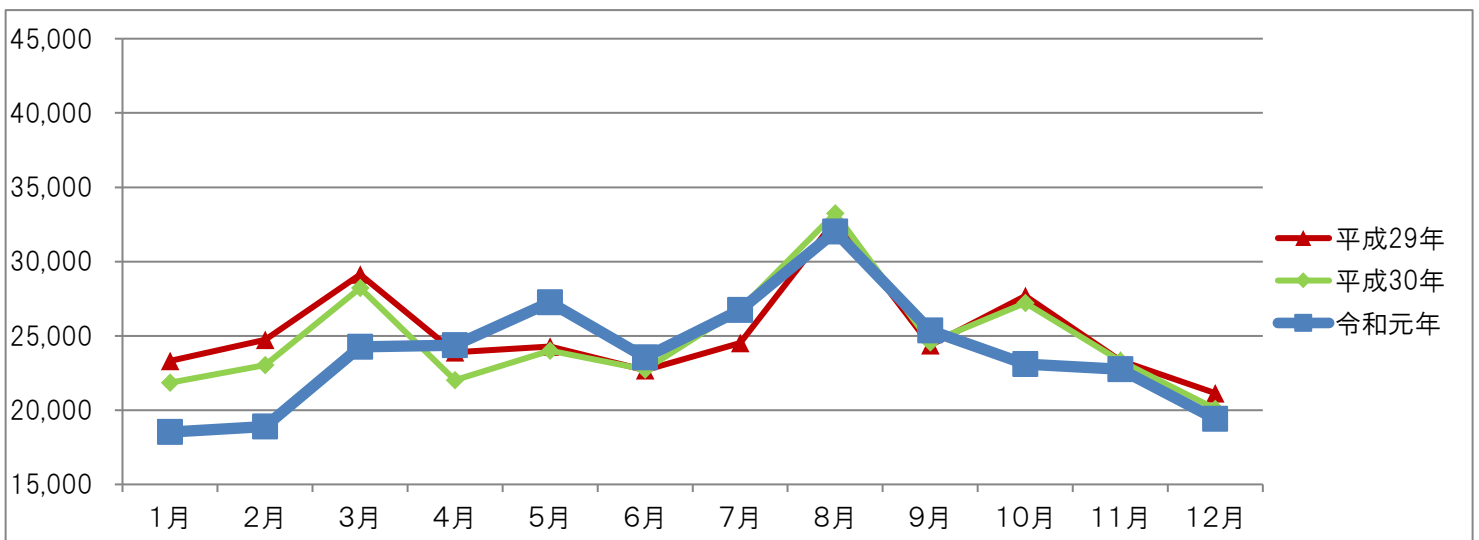
(単位:人)



宿泊者数	平成 29 年 (12 月)	平成 30 年 (12 月)	令和元年 (12 月)
観光・その他	14,776	11,822	15,542
(観光)	7,237	6,972	9,886
(その他)	7,539	4,850	5,656
復興関連	6,365	8,268	3,870
合計	21,141	20,090	19,412

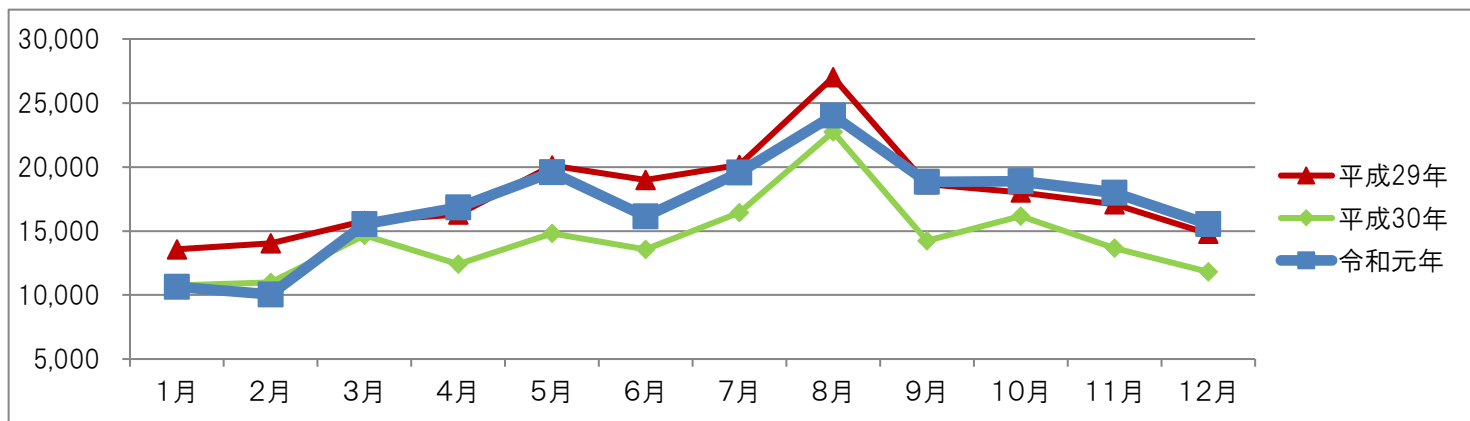
② 年間推移(合計)

(単位:人)



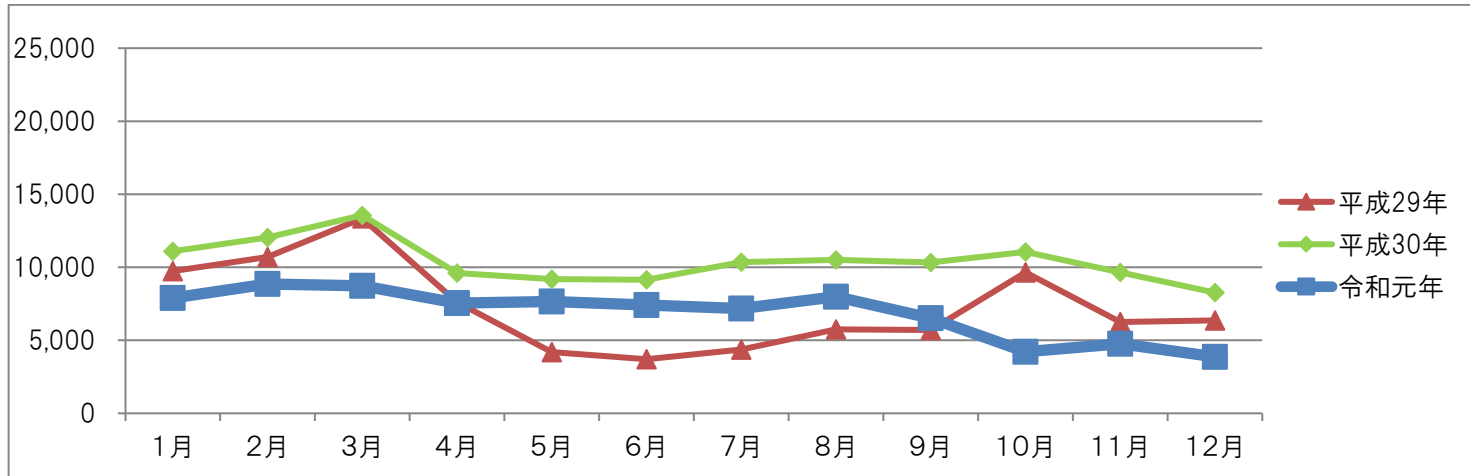
③年間推移(観光・その他)

(単位:人)



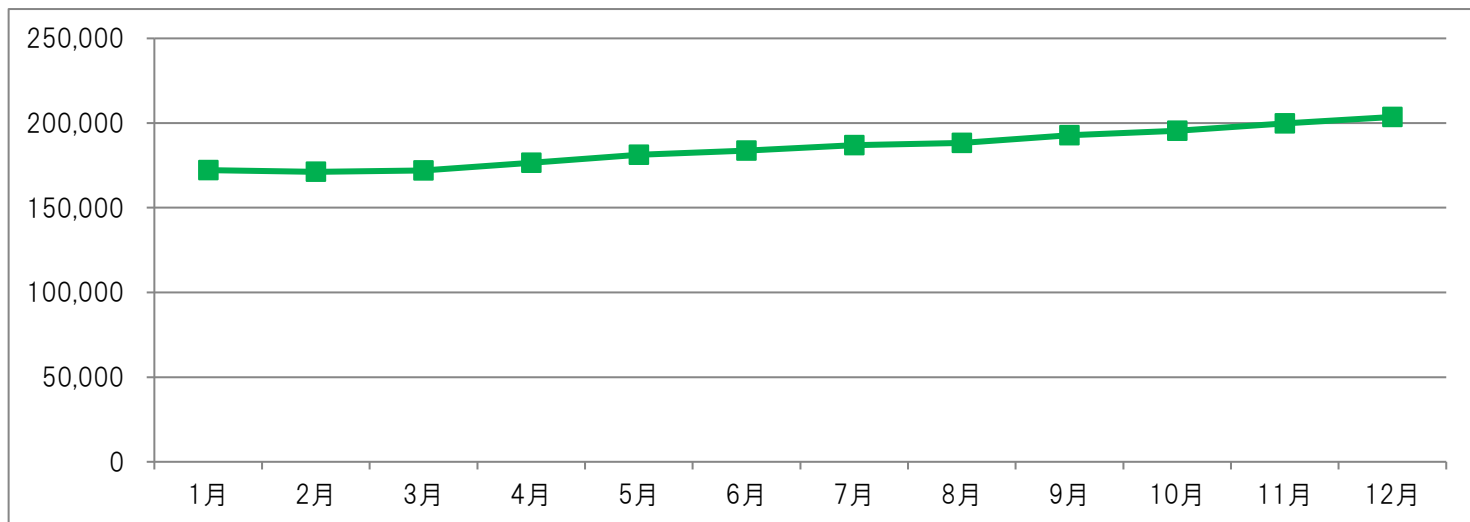
④年間推移(復興関係)

(単位:人)



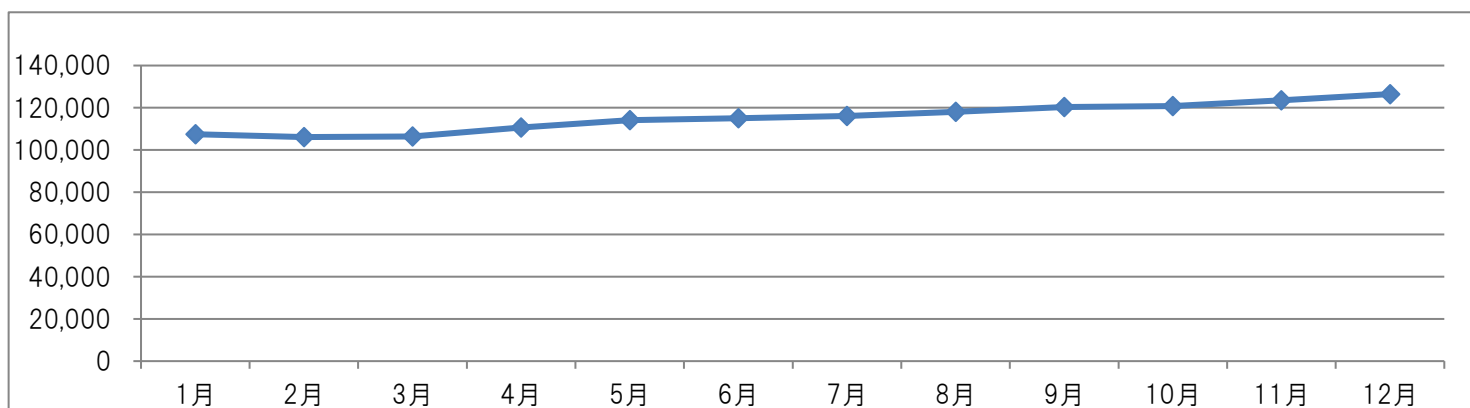
⑤移動年計(観光・その他)

(単位:人)



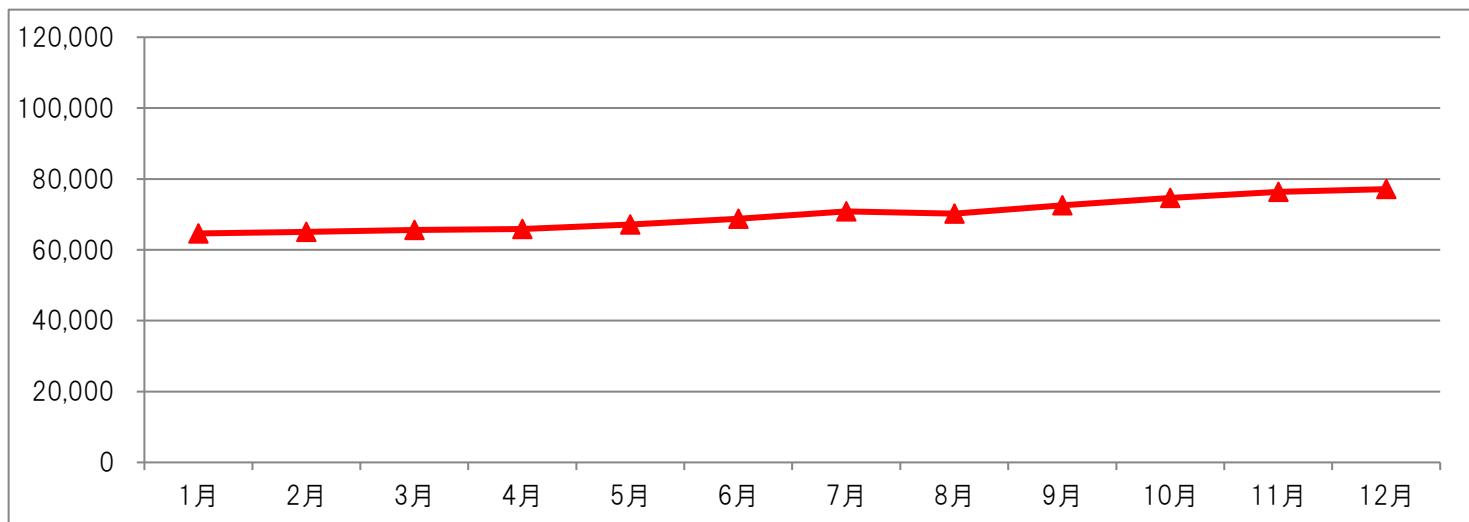
⑥移動年計(観光)

(単位:人)

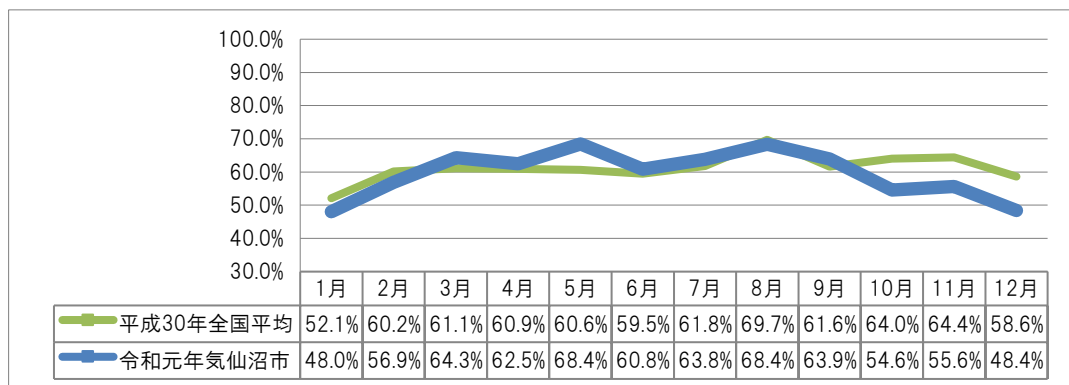


⑦移動年計(その他)

(単位:人)



(2)客室稼働率 ※平成30年全国平均は、観光庁宿泊旅行統計調査(平成30年・年間値(速報版))より <<参考データ>>



宿泊施設タイプ別 (全国平均)	平成30年 (12月)
旅館	35.4%
リゾートホテル	54.7%
ビジネスホテル	72.3%
シティホテル	78.2%
簡易宿所	27.1%

2. 物販施設(レジ通過者数)

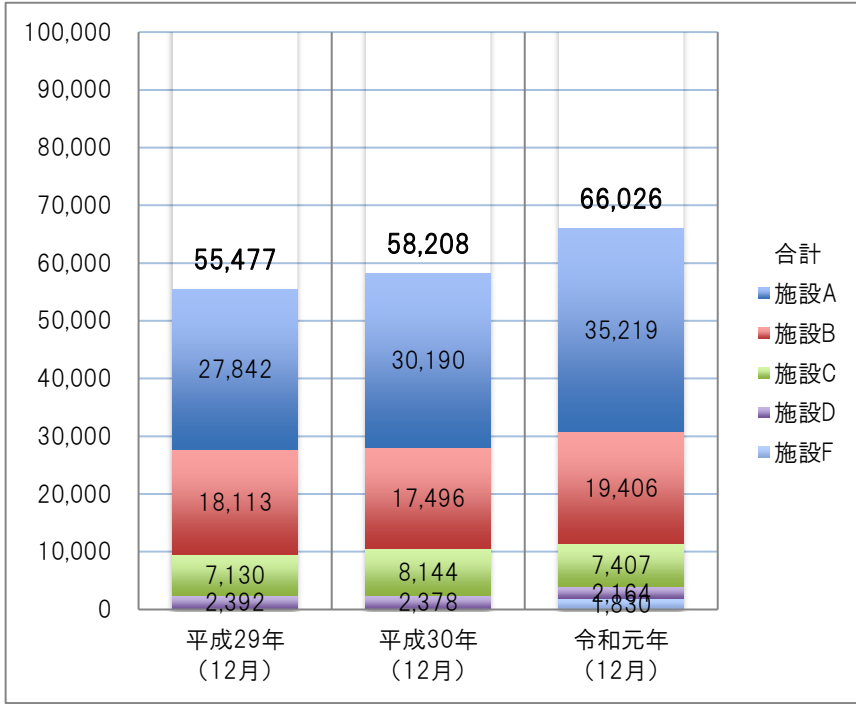
<物販施設トピックス>

- ・物販施設のレジ通過者数は同月前年比 113.4%と増加した。施設 A は 116.7%，施設 B は 110.9%と増加した。施設 C は 91.0%，施設 D も 91.0%と微減となった。
- ・施設 F を除いた同月前年比は 110.3%となった。

(1)同月前年比

(単位:人)

(単位:人)

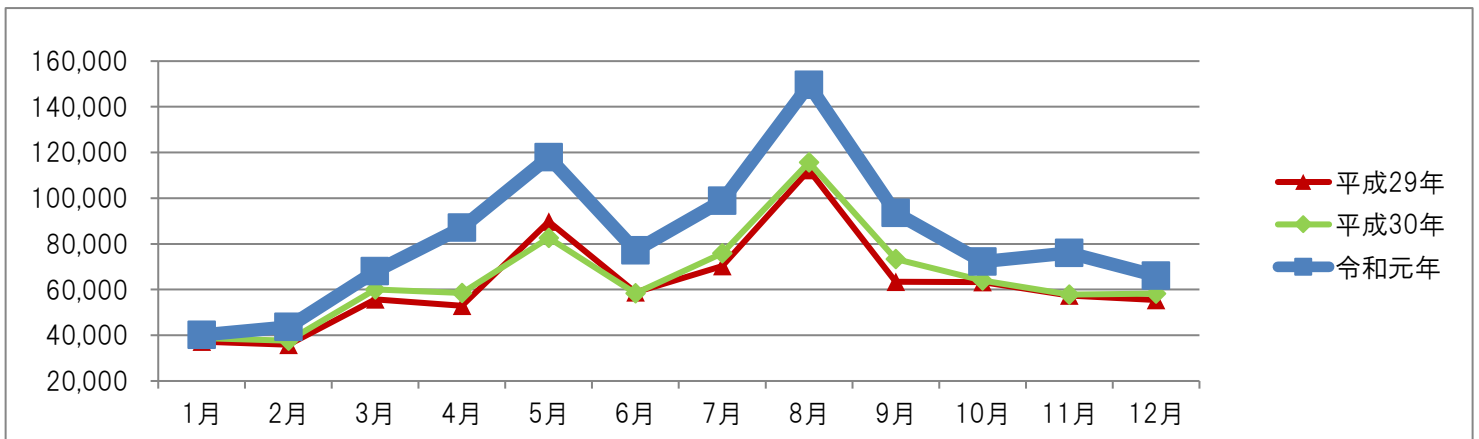


物販施設	平成29年 (12月)	平成30年 (12月)	令和元年 (12月)
施設 A	27,842	30,190	35,219
施設 B	18,113	17,496	19,406
施設 C	7,130	8,144	7,407
施設 D	2,392	2,378	2,164
施設 F	(R1.7 オープン)	(R1.7 オープン)	1,830
合計	55,477	58,208	66,026

※令和元年 7 月より調査対象に施設 F を追加している。また、施設側の都合により、同年 11 月より施設 E を調査対象から外している。

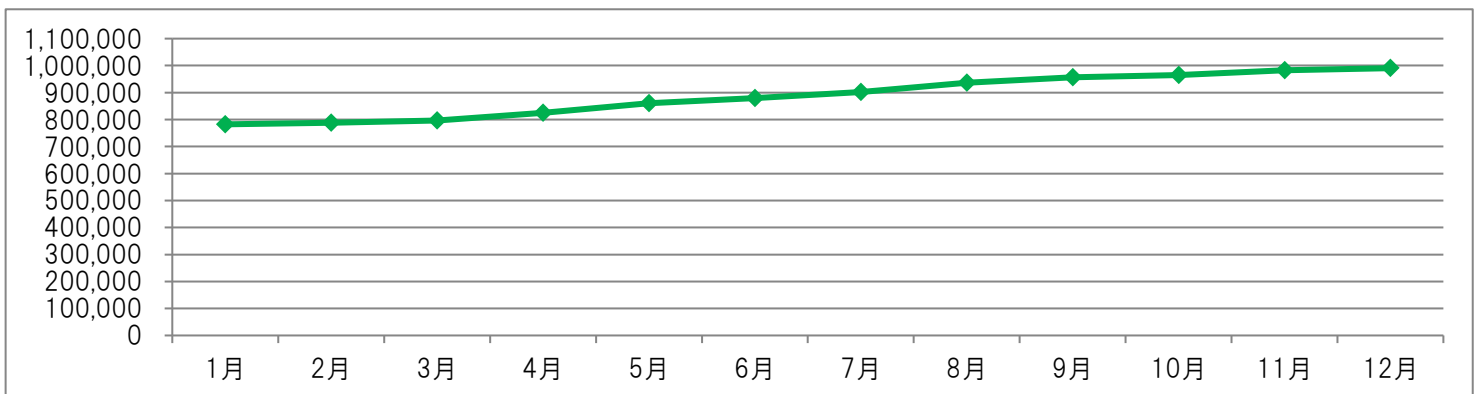
(2)年間推移

(単位:人)



(3)移動年計

(単位:人)



3. 観光施設(利用人数)

<観光施設ピックアップ>

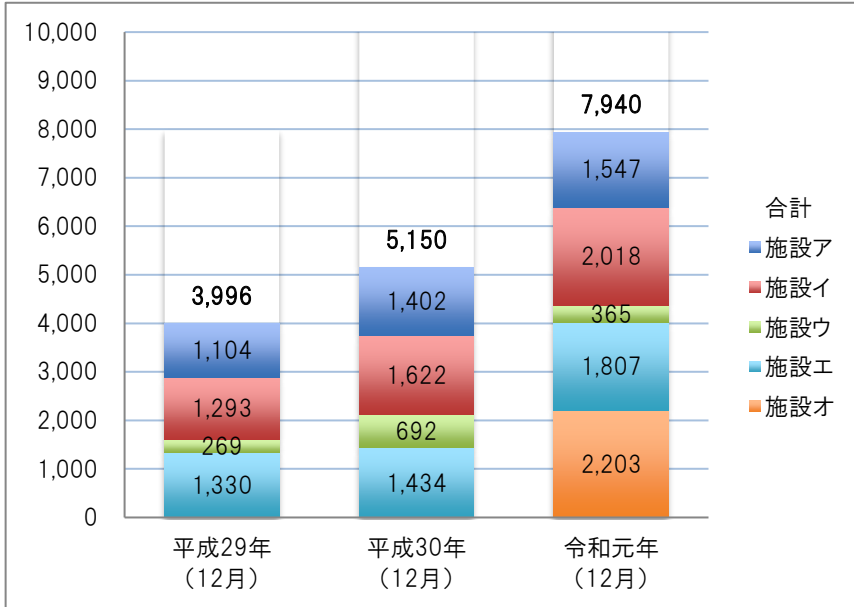
・観光施設の利用人数は施設オの開館の影響もあり、同月前年比 154.2%の増加となった。施設アが 110.3%，施設イが 124.4%，施設エが 126.0%とそれぞれ増加している。施設ウは団体での申し込みが昨年より少なく、52.7%と大幅に減少した。

・施設オを除いた施設の同月前年比は 111.4%となった。

(1)同月前年比

(単位:人)

(単位:人)

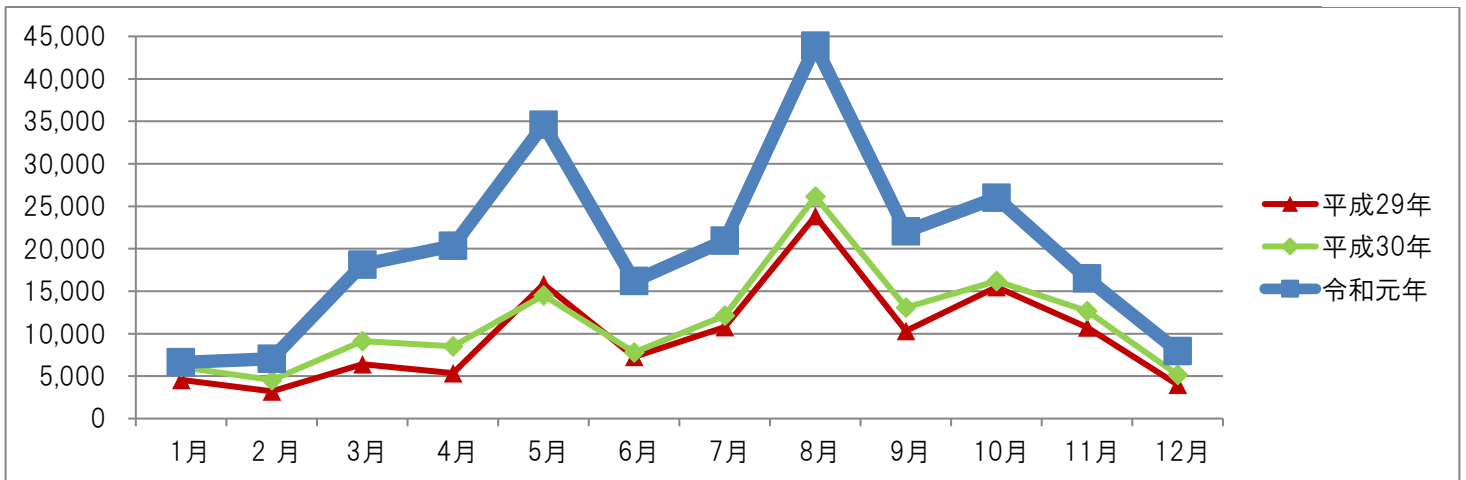


観光施設	平成 29 年 (12 月)	平成 30 年 (12 月)	令和元年 (12 月)
施設ア	1,104	1,402	1,547
施設イ	1,293	1,622	2,018
施設ウ	269	692	365
施設エ	1,330	1,434	1,807
施設オ	(H31.3 開館)	(H31.3 開館)	2,203
合計	3,996	5,150	7,940

※令和元年 6 月より、観光施設の表記は従来のアルファベットからカタカナに変更している。

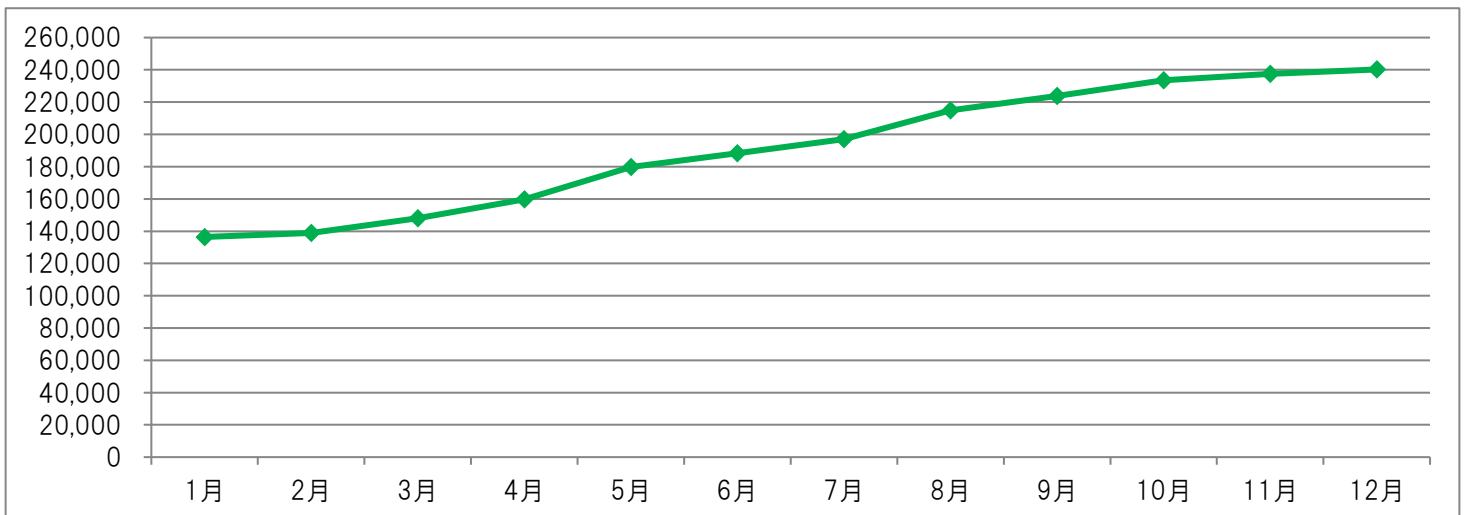
(2)年間推移

(単位:人)



(3)移動年計

(単位:人)



4. 体験・ガイドプログラム

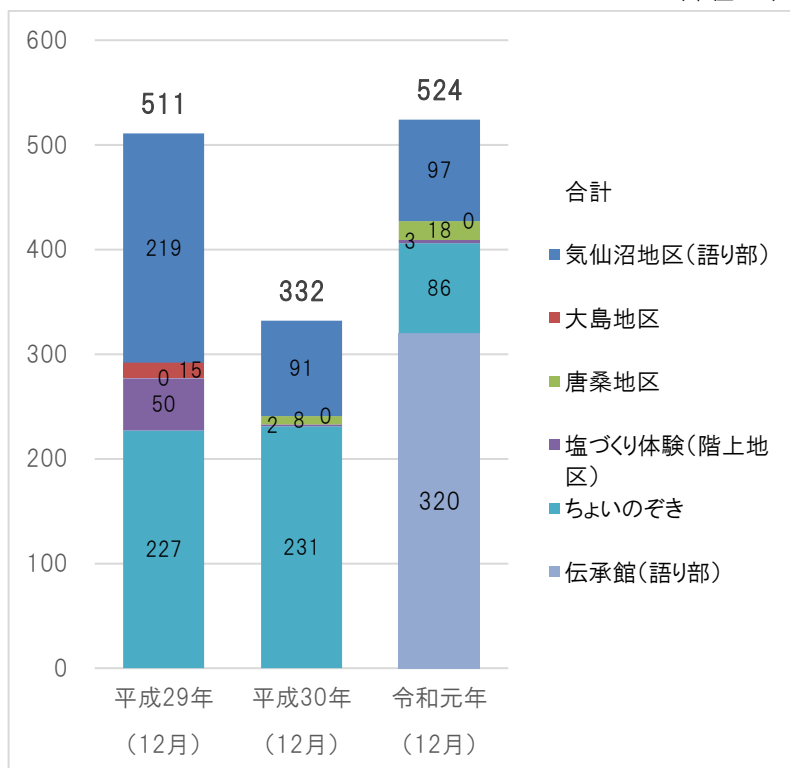
<体験・ガイドプログラムトピックス>

- ・12月の同月前年比は語り部(伝承館)の影響もあり、「体験人数」で157.8%と増加したが、「体験金額」で97.7%の微減となった。
- ・語り部(伝承館)を除いた施設の同月前年比は「体験人数」で61.4%、「体験金額」で69.3%となった。
- ・「体験人数」の同月前年比で語り部(観光協会)が106.6%、唐桑地区が225.0%、塩づくり体験(階上地区)が150.0%の増加となった。ちよいのぞきに関しては37.2%と大きく減少した。
- ・唐桑地区の「体験人数」の増加は、料理体験に団体の参加が増加したことによる。
- ・ちよいのぞきに関しては、レギュラープログラムが昨年は9つ開催されたが、今年は最少実施人数に達しなかったことにより2つの開催に留まった。「体験人数」で37.2%の大幅減となったが、「体験金額」では57.2%減に留まったのは単価の高い視察の受入れが多かったことによる。

(1) 体験人数

① 同月前年比

(単位:人)

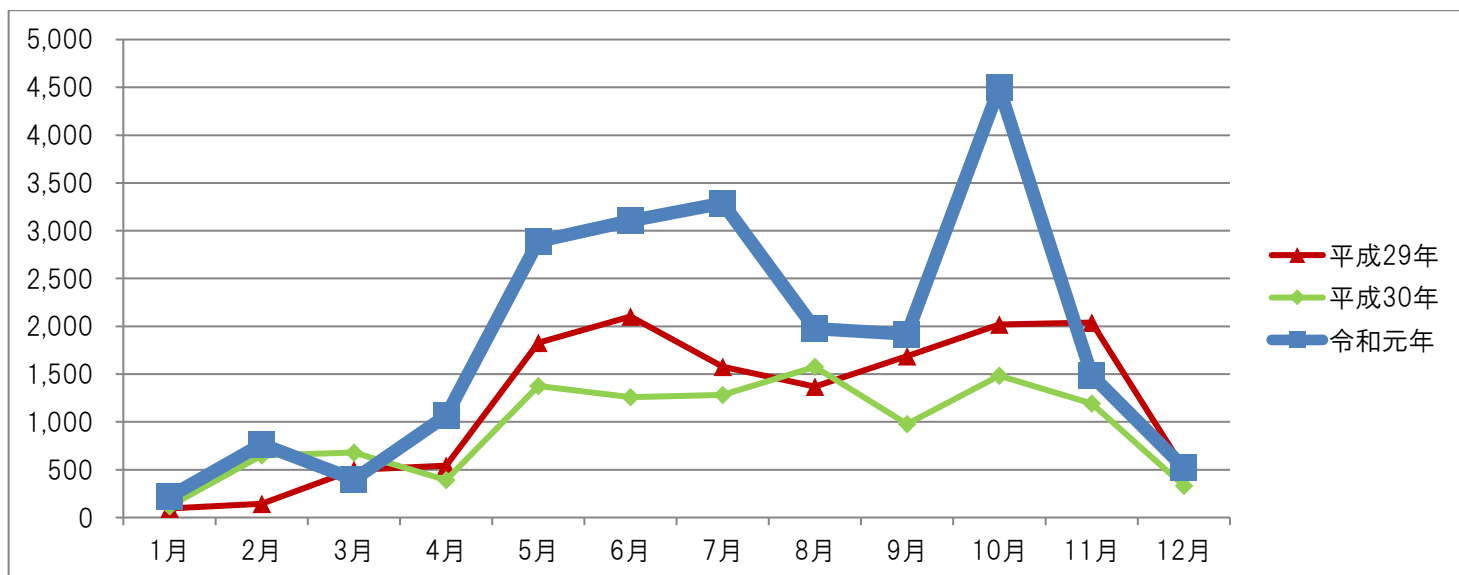


(単位:人)

体験・ガイドプログラム	平成29年(12月)	平成30年(12月)	令和元年(12月)
語り部(観光協会)	219	91	97
大島地区	15	0	0
唐桑地区	0	8	18
塩づくり体験(階上地区)	50	2	3
ちよいのぞき	227	231	86
語り部(伝承館)	(H31.3 開館)	(H31.3 開館)	320
合計	511	332	524

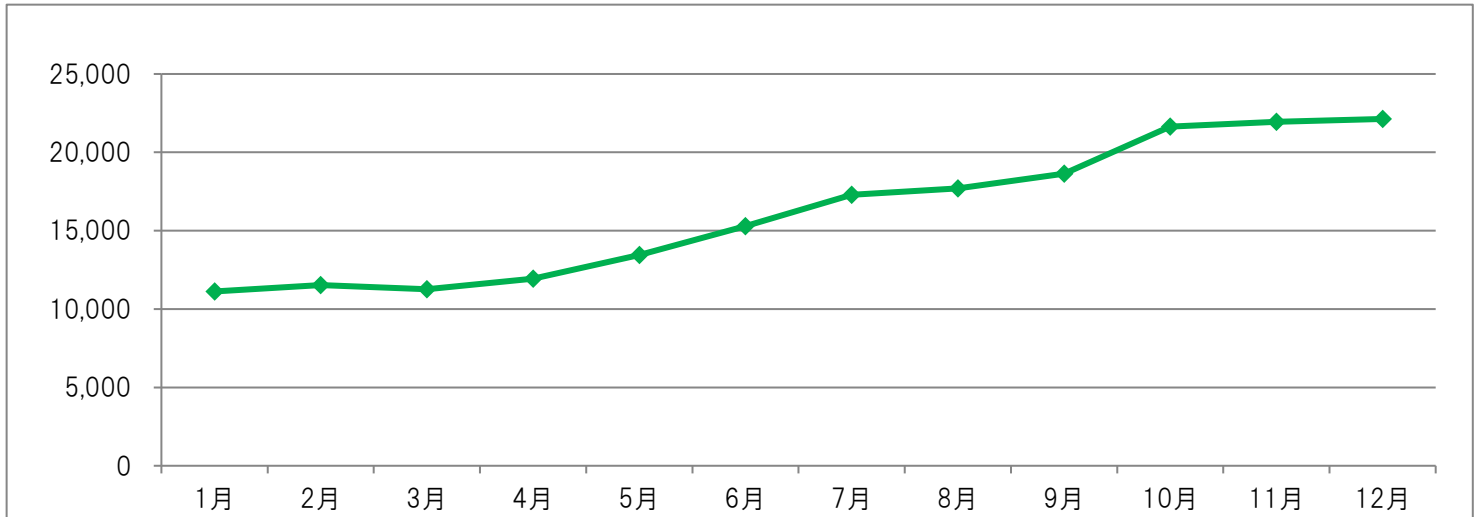
② 年間推移

(単位:人)



③移動年計

(単位:人)

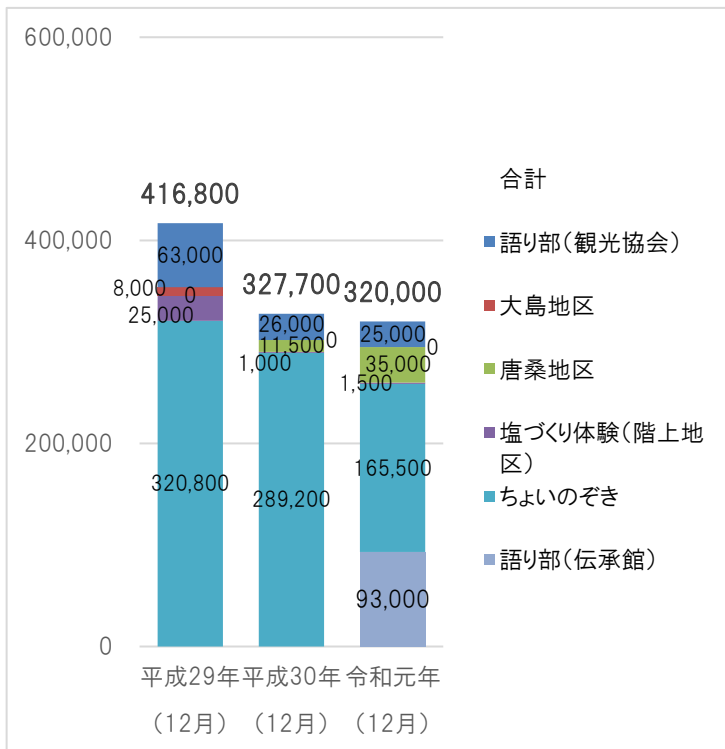


(2)体験金額

①同月前年比

(単位:円)

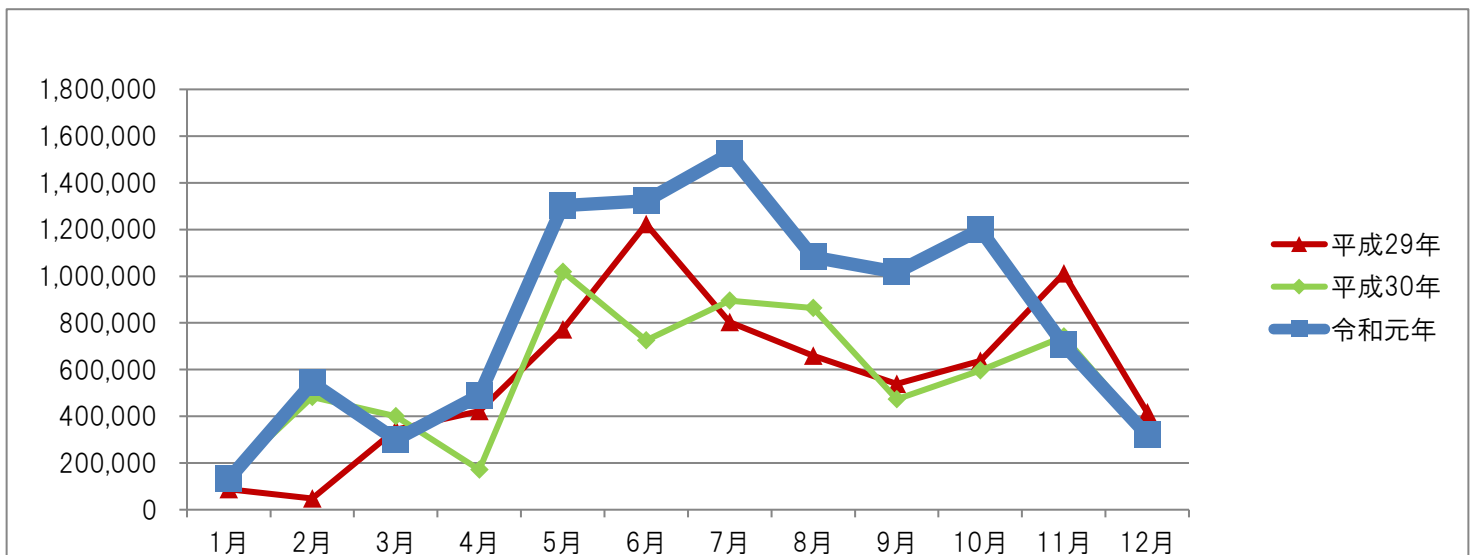
(単位:円)



体験・ガイドプログラム	平成 29 年 (12 月)	平成 30 年 (12 月)	令和元年 (12 月)
語り部 (観光協会)	63,000	26,000	25,000
大島地区	8,000	0	0
唐桑地区	0	11,500	35,000
塩づくり体験 (階上地区)	25,000	1,000	1,500
ちよいのぞき	320,800	289,200	165,500
語り部(伝承館)	(H31.3 開館)	(H31.3 開館)	93,000
合計	416,800	327,700	320,000

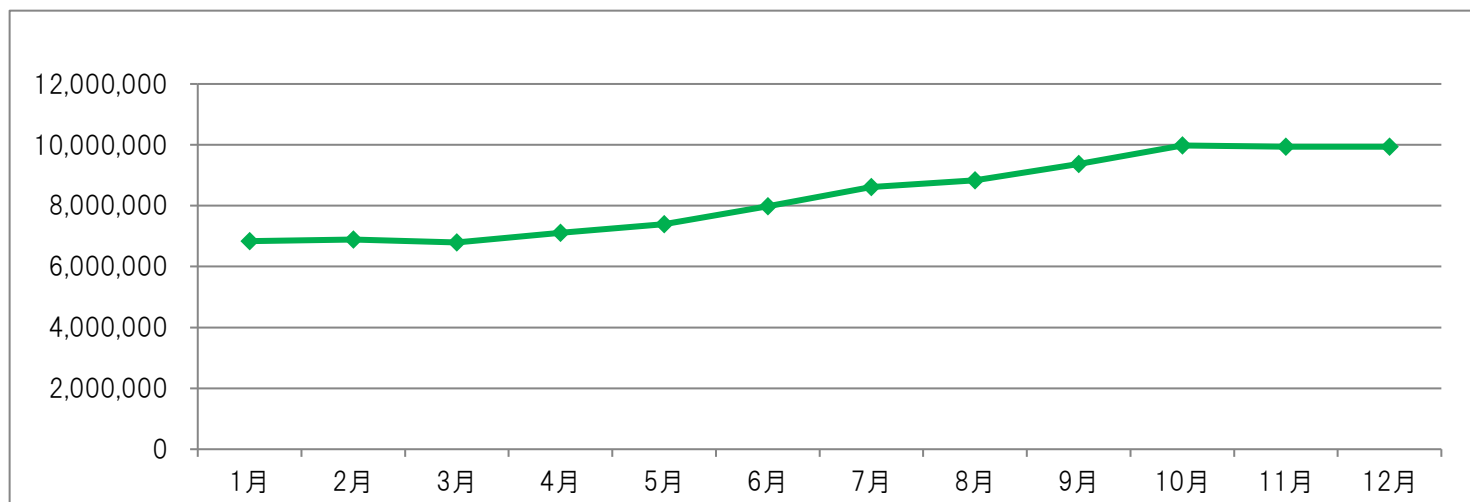
②年間推移

(単位:円)



③移動年計

(単位:円)



5. 観光案内所

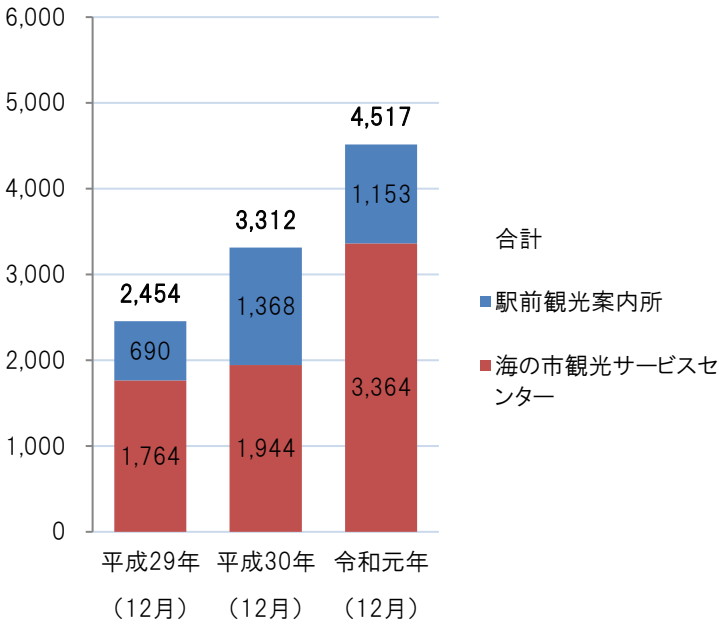
<観光案内所ピックアップ>

- ・12月の観光案内所利用人数は同月前年比 136.4%と増加。駅前観光案内所は 84.3%、海の市観光サービスセンターが 173.0%となった。
- ・12月1日に「お菓子フェア」が開催され、海の市観光サービスセンターに400人超の利用があった。また、年末の利用も昨年より増加しており、クールカードのアプリ誕生キャンペーンの効果と思われる。駅前観光案内所は昨年に比べ、営業日が1日少なかったこと、平日の利用が平均的に少なかったのが影響し利用者が減少している。

(1) 利用人数(同月前年比)

(単位:人)

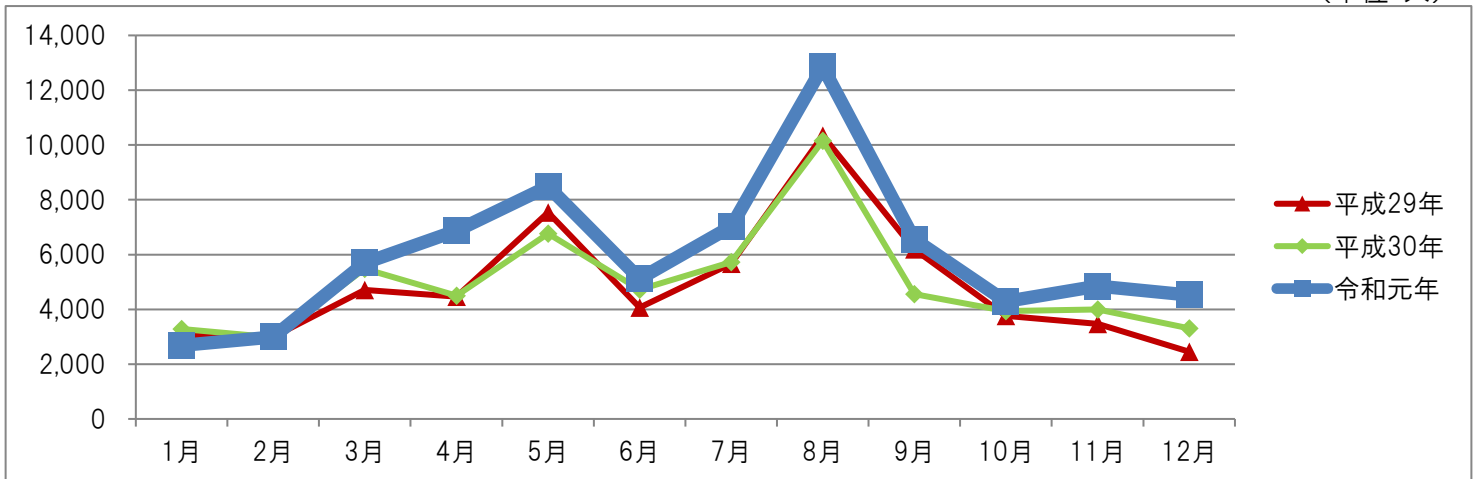
(単位:人)



観光案内所	平成29年 (12月)	平成30年 (12月)	令和元年 (12月)
駅前観光案内所	690	1,368	1,153
海の市観光サービスセンター	1,764	1,944	3,364
合計	2,454	3,312	4,517

(2) 同年間推移

(単位:人)



(3) 移動年計

(単位:人)

